

## ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

(実施期間：平成 27～令和 2 年度)

実施機関：岡山大学（総括責任者：榎野 博史）

## 取組の概要

理系分野を中心にポストアップによる女性研究者の上位職登用および WTT 制度等により女性研究者の採用を促進するとともに、教員評価制度の見直し等により優秀な女性研究者の活躍を推進する。このための基盤として、各種研修に加え、共同研究プロジェクトの立ち上げ・展開、国内・国際シンポジウムの開催を通じてリーダーシップ・マネジメント力を涵養し、チームリーダーとして研究成果を国際的に発信し、上位職でもその実力を発揮出来る総合研究力のある女性研究者を着実に輩出する体制を実現する。これに加えて、研究支援・カウンセリング・メンタリング、さらには継続的なキャリア形成支援などのサポートを強化する。

## (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
S	a	s	s	a	s

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

## (2) 評価コメント

「女性教員特別昇任（ポストアップ）制度」による上位職登用、ライフイベントを考慮した業績評価・人事評価の構築、総合的な研究力を涵養するための支援、「カウンセリング・ファミリーサポートシステム」の構築等、多面的な取組を着実に実施することにより、女性研究者の上位職への昇任を大幅に増加させるなど顕著な成果を挙げており高く評価できる。女性研究者の積極的な採用に加え、業績評価や上位職への昇任のプロセスを改善したことにより、女性研究者の順当なキャリア形成に繋がる循環的な仕組みを構築しており、他機関への高い波及効果が期待できる。また、女性研究者の研究力向上を目指した「女性教員支援助成金」等の取組が、科研費新規採択件数の大幅な増加に繋がっており今後の展開が期待できる。クロスアポイントメントを活用し、工学系分野の女性教授の採用を進めており、当該分野の女性教授の更なる増加を期待する。

- ・**目標達成度**：「ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制」や「ポストアップ制度」の効率的な運用により女性研究者の積極的な採用や昇任を進め、また、女性研究者による共同研究や国際学会開催を支援し研究力向上を図ることにより、多くの意欲的な目標を達成しており評価できる。
- ・**取組**：既存の「WTT 制」の継続的な実施に加え、女性研究者の上位職登用を目指した「ポストアップ制度」、研究力向上を目指した「女性教員支援助成金」、ライフイベントを考慮した業績評価・人事評価、ダイバーシティ推進の取組を部局評価に反映させる取組等、特色ある取組を総合的に実施したことは高く評価できる。
- ・**取組の成果**：女性研究者の採用比率、上位職比率、科研費採択件数が顕著に増加する成果が挙げており高く評価できる。特に、「ポストアップ制度」の波及効果として、大学全体として女性教員上位職登用の機運が高まり、当該制度の活用によらず 51 名の女性教員の昇任が進められ

たこと、長らく女性教授が不在であった理学部、農学部に女性教授が誕生したことは大きな成果と言える。

- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、学長直属の「ダイバーシティ推進本部」を設置し、戦略的プログラム支援ユニット（URA）や全学教育・学生支援機構等、学内関係部署との連携を図りながら全学として効果的に事業を進めたことは評価できる。
- **今後の進め方**：自主経費に加え寄付金を募るなど、事業予算を計画的に確保し、取組の継続性と発展性を担保する方針を明確に示しており高く評価できる。今後の更なる取組の発展に加え、特色ある取組好事例を地域及び全国の機関へ効果的に普及させることを期待する。